メモリーカードの取扱いについて

メモリーカードに付属している取扱説明書をよくお読みになってからご使用下さい。

１．電池の取付

電池をカードの電池ホルダへ極性に注意しセットしてください。

２．ライトプロテクト

ライトプロテクトスイッチが書き込み可能側になっていることを確認して下さい。
学習データの書き込みが可能となります。

３．カードの挿入

ワイヤリングチェッカーの電源をＯＦＦにして下さい。
ＩＣカードスロットにメモリーカードのＩＮＳＥＲＴ（端子側）に注意して挿入して下さい。

４．メモリーカードのフォーマット

【リセット】スイッチを押しながら【セレクト】スイッチを押してセレクト番号”１００”,”２００”・・・”８００”の何れかにしてください。
【学習】スイッチを押しながら【スタート】スイッチを押して下さい。
オープンランプが点灯し右表示部にセレクト番号が表示され、終了するとブザーが２回鳴り待機状態になります。
すでに、学習済みのデータが有れば登録されます。

５．メモリーカードへの学習データ登録

待機状態から【リセット】スイッチを押しながら【セレクト】スイッチを押してみて下さい。セレクト番号が”１”から最大数を越えると”１０１”,”１０２”,”１０３”・・・と表示されます。
セレクト番号”１”は”１０１”,”２”は”１０２”でメモリーカードに書き込まれます。

［例］ ＣＨＫ－２５６ｍｋⅢの場合

１→２→３→１０１→１０２→１０３→２００→１．．．

①セレクト番号”１”に良品サンプルを学習させて下さい。
（取扱説明書５－４参照）

②セレクト番号”１０１”を選び【学習】スイッチを押しながら【スタート】スイッチを押して下さい。”１”が”１０１”に書き込まれました。（取扱説明書５－６－１参照）
セレクト番号”２”,”３”にも学習データが有る場合は、”１００”を選び書き込んで下さい。”１”,”２”,”３”全てが同時に書き込まれます。
セレクト番号”２００”～”８００”も同様です。

注意！
書き込みを行うと、先に書き込まれたデータが失われ新しいデータが書き込まれますので注意して下さい。

③全てのデータの書き込みが終了した時点でライトプロテクトスイッチを書き込み禁止側(WRITE PROTECT)にして下さい。
誤ってデータを失う事を防ぐためです。

６．メモリーカードからのデータの読み込み

（取扱説明書５－６－２参照）
待機状態から必要なデータのセレクト番号を選び（１０１,１０２,１０３,２０１,２０２,２０３等）【スタート】スイッチを押して下さい。
”１０１”は”１”に”１０２”は”２”に読み込まれます。
”１００”を選択すると”１”,”２”,”３”の全てが読み込まれます。

７．メモリーカードの電池交換

取扱説明書２７頁”メモリーカード・バッテリーチェック”を参照して下さい。カード付属の取扱説明書に従い交換してください。